

様式 2

県立高等学校重点校制度に係る成果報告書

学校名 鳥取工業高等学校

重点項目	専門人材育成	提出日	平成31年4月23日
------	--------	-----	------------

1 学校目標	
『地域を支える人財（材）、技術者の育成』 技術を研ぎ、身体を鍛え、心を磨くことをとおして、優れた知性や創造性を身に付けたたくましい力と、感動したり他者を思いやるあたたかな心を兼ね備えた、健全で個性豊かな人材の育成をめざす。	
2 重点項目に係る目標・成果	
目標	成果
<p>(1) 学力の向上</p> <p>ア 授業改革と学力の向上</p> <p>イ 主体的な学習態度と実践力の向上</p> <p>(2) 豊かな人間性の育成</p> <p>ア 互いを尊重する態度と社会性の涵養</p> <p>イ 健全な心身と社会貢献精神の育成</p> <p>(3) キャリア教育の充実と進路実現</p> <p>ア 専門的な知識・技術の習得</p> <p>イ 勤労観・職業観の育成と進路指導の徹底</p> <p>ウ 地域や産業界との連携強化</p> <p><数値目標></p> <p>(1) 基礎力診断テストにおいて国公立大学への進学を視野に入れることができるBゾーン以上の学力層にある工業学科生徒割合20%以上</p> <p>(2) 就職内定率100%（公務員を含めた第一希望先就職内定率90%以上）</p> <p>(3) 単年度資格取得数一人一資格以上</p> <p>(4) ジュニアマイスター顕彰（複数の難度の高い資格取得者を顕彰するもの）者10名以上</p>	<p>学力の向上を目指し授業改革を学校全体で推進していく中で、大学進学のための放課後補習や個別指導等にも計画的に取り組めた。しかし、下位層の底上げはある程度の成果は見られたが、大学進学がねらえる上位層の大幅な育成にまでは至らなかった。</p> <p>インターンシップや企業見学、進路ガイダンスなど3年間系統的にキャリア教育を充実させてきた成果として、就職内定率は目標を達成することができた。資格取得については、一人一資格以上の数値目標が達成までには至らなかったが、進路と結びつけての奨励や補習等でのバックアップ体制で、ジュニアマイスター顕彰など高難度の資格取得者を増やすことができた。</p> <p><数値結果>以下は平成31年3月末時点の結果。</p> <p>(1) 約14%</p> <p>(2) 就職内定率 100%（第一希望先就職内定率約89%）</p> <p>(3) 0.66資格/人</p> <p>(4) 7名（ゴールド3、シルバー2、ブロンズ2）</p>
3 実施事業	
<p>【高等学校課事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・21世紀型能力を育むための講師派遣事業 本校職員による研究授業を全員で参観し、協議・意見交換を行って課題を共有したのち、講師による講義を聴講し、理解を深める。 ・外部人材活用事業（県立高校・大学教員の教員交流事業）【鳥取大学】 制御・情報科の生徒が大学の先生からマイコンカーラリー等のロボット製作及び制御プログラミングの開発と改良について、直接学ぶ。 ・外部人材活用事業（社会人講師活用事業） 	

社会人講師と教職員のティームティーチングによる授業で行い、三相誘導電動機の正・逆転回路、インターロック回路の知識と技能を習得させる。

・鳥取県版キャリア教育推進事業（1年生）

1年生の進路LHRで「さまざまな働き方、暮らし方」をテーマとして地元企業の方をお招きして、地元企業の理解とその魅力について考え、自身の進路設計の一助とする。

・鳥取県版キャリア教育推進事業（2年生） 先輩を囲む会

各学科の卒業生を招き、各企業や進路先に関わる話を聞くことで、「働くこと」や「学ぶこと」の意義について考え、翌年度の進路目標に向けた行動計画を考える参考とする。

・鳥取県版キャリア教育推進事業（3年生） 社会人としての基礎教養講座

社会保険労務士会、鳥取県労働者福祉協議会等から派遣の講師の講義により、就職・進学後に必要なビジネスマナーや社会常識等を習得し、社会の一員としての自覚を深め、卒業後の環境変化にスムーズに対応する力を身につける。

・鳥取県版キャリア教育推進事業（1・2年生） 分野別進路ガイダンス

鳥取テクノヒルズ会員企業を含め、地元産業界及び上級学校から派遣の講師の講演により、生徒及び保護者が各業種別の内容や実態、諸学問の分野別の内容を知り、進路について考える機会とする。

・学校連携チャレンジサポート事業

鳥取湖陵、鳥取商業、智頭農林と連携して、専門高校の教育内容を発信。各校の生徒が直接に地域住民や小中学生に各校の専門性をアピールすることにより、地域の産業やものづくりの大切さを伝える機会とする。

【独自事業】

(1) 授業改革・学力向上事業

・教員授業力向上研修

普通教科教員は予備校セミナーに、工業科教員は各種研修会・講習会に参加することで、最新の技術や実践方法、情報を取得する。

(2) 豊かな心育成事業

・テクノボランティア

近隣の高齢者住宅や社会福祉施設等を訪問して、電気製品等の簡易な修理や清掃等を行うことで、自己肯定感を高め、地域社会の一員としての自覚を深めることができる。

(3) ものづくり技術育成事業

・課題研究充実事業

課題研究発表会やそれに向けた1年間の目標・計画設定や制作等を通じて、専門的な知識と技術の深化・統合を図るとともに、鳥工版デュアルシステムで、より実践的な職業知識と技術・技能を習得する。

・資格取得促進事業

社会人講師等の指導を受けながら資格取得にチャレンジすることで、日頃の学習成果の定着を図るとともに、より専門的な知識・技能の習得を果たす。また、就職・進学ともに進路選択の幅が広がる。

・創造的技術育成事業

マイコンカーやエコデンカー等の競技大会に参加することで、実習で学習した技術を応用し、工業の総合的な力を付けることができる。

・ものづくり技術育成事業

「高校生ものづくりコンテスト全国大会」及びその予選に参加することで、製造業を支える技術者・技能者への成長を促し、より高度な検定受検・資格取得の動機付けとする。

(4) キャリア教育推進事業

・インターンシップ

工業の学習内容が現場でどう活かされ、応用されているのかを体感し、職業観・勤労観を育み、進路選択の一助とする。また、実社会に必要な知識やマナーを身に付ける。

・ものづくり講演会

優れた技術者・職人の講演を聴くことで職業観・勤労観を育むとともに、ものづくりの楽しさや素晴らしさを再認識して、学習意欲をさらに高める。

・進路指導支援事業

就職・進学実績の多い県外企業及び大学を訪問し、卒業生の様子を把握し、進路先と情報交換することで、生徒の定着指導及び進路指導の充実を図る。

(5) 地域連携推進事業

・鳥工テック

実習棟や体育館等で各科の日頃の学習成果を地域の小・中学生や一般の方々が参観、体験することで、生徒は企画・実践・表現する力を高めることができ、地域には本校や工業についての理解を深め、興味関心を高めてもらうことができる。

・中学生体験入学

中学生が本校の工業各科の学びや部活動を参観・体験することで、本校の魅力や「ものづくり」の楽しさを体感し、本校への進学が魅力的な選択肢であることを理解してもらう。

4 総合所見 (成果・評価)

授業改革については、主体的・対話的で深い学びを目指した公開授業（1人1回以上の実施率は91%）や学力向上研修会（年2回実施）の成果もあり、生徒の授業満足度は昨年度を上回り（78.7%）、目標の80%に迫る結果となった。また、アクティブラーナー視聴の推進やICT活用研修会の実施などにより、iPadを授業に取り入れた職員が大幅に増加（76.7%）するなど着実にICTを活用した授業づくりが進んでいる。

学力の育成については、工業学科において、数学の基礎補習や工業科目及び資格取得の補習を実施したことで、基礎力の向上や資格取得の結果につなげることができた。国語・数学・英語の基礎力が十分でない生徒に対しては、定期的に個別指導を実施することで基礎力診断テストのD3ゾーンの底上げはできたが、大学進学をねらえるBゾーン以上は14%に留まり目標の20%を達成することができなかった。

人材育成（専門的な知識・技術の習得）については、資格・検定取得や大会出場が進路に大きくプラスに働くことを認識させることで生徒の意欲を喚起し、放課後補習や参加の奨励、進路指導の充実等に努めることで各科が掲げていた目標を概ね達成できた。しかし、「単年度資格取得数一人一資格以上」は0.66資格/人という結果に終わり目標達成には至らなかった。また、ジュニアマイスター顕彰は目標の10名には届かなかったが、7名（ゴールド3、シルバー2、ブロンズ2）が取得することができ昨年度より増加した。

職業意識の育成については、3年間系統的にキャリア教育を実践することで生徒一人ひとりに早い段階から職業観を培うことができた。鳥工版デュアルシステムは6名、インターンシップは工業学科2年生全員、企業見学は工業学科全学年、企業・学校説明会は年間23回開催するなど継続的な取り組みが実を結び、就職内定率100%の目標を達成することができた。

今後も学力の向上や専門力の習得、進路指導の充実等に継続して取り組むことで専門人材の育成に努めていければと考えている。加えて、ふるさと手づくりまつりや中学校への出前授業、鳥工テック、テクノボランティアなどを通して、小中学生や地域住民への情報発信・地域連携を推進していくことで本校の魅力や特色を伝えていきたい。

※枚数任意